

篠崎史紀 入江一雄

Fuminori Maro Shinozaki & Irie Kazuo Duo Recital

Duo リサイタル

2023

11/13 (月)

19:00開演 開場18:15 終演21:00予定

市民会館
シアーズホーム夢ホール
熊本県熊本市中央区桜町1-3

〈チケット〉全席指定

SS 6,000円	B 3,000円
S 5,000円	C 500円
A 4,000円	小中高生のみ、席数に限りがあります。

*小中高生はSS席からB席まで全ての席をC席料金(500円)とします。ご家族でもご利用ください。

*C席は下記の電話でのみ販売いたします。

*車いす席をご希望の方はご連絡ください。

*未就学児の入場はご遠慮ください。

〈チケット取扱場所〉

●TEKET

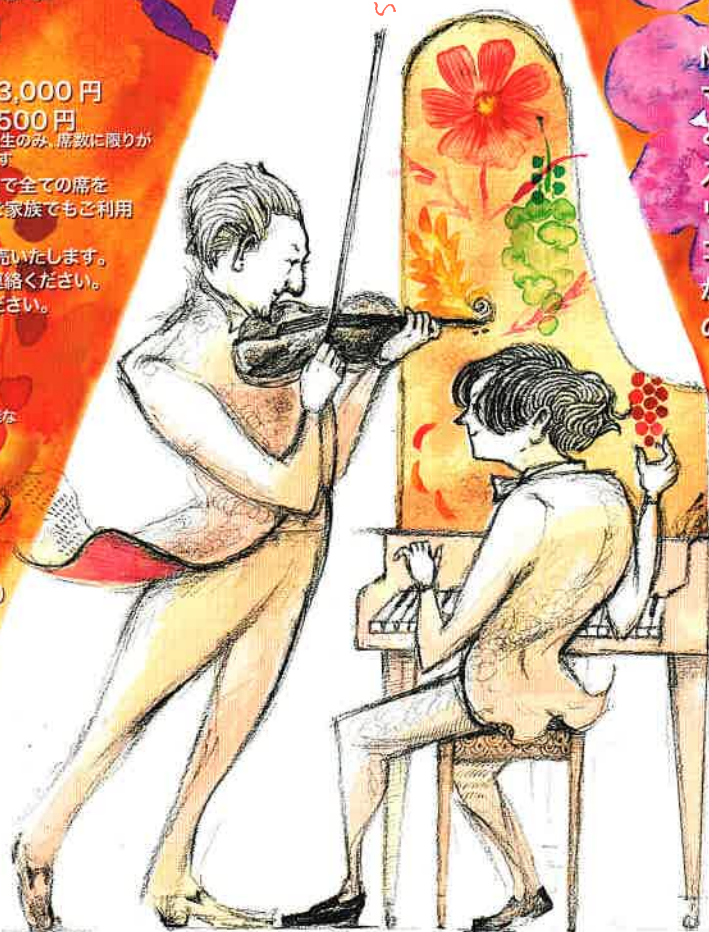


スマホのみで購入可能な電子チケットです

- シアーズホーム夢ホール
- 熊日プレイガイド
- 大谷楽器店
- 電話 090-6639-1770 (平日の12:00~17:00)

*C席ご希望の方はお電話下さい。

クラシック音楽への道 あんない



〈プログラム〉

ブラームス/スケルツォ
ヴァイオリン・ソナタ第1番
ト長調「雨の歌」op.78

マーラー/アダージェット

レハール/メリー・ウィドウ・ワルツ

ジチンスキー/ウィーン、わが夢の街 ほか

NHK交響楽団特別コンサート
マスターのマロさん(篠崎史紀)と、ソロに室内楽に大活躍中の入江一雄さん(熊本出身)とのリサイタルです。
コンサートの途中に2人のお話が入ります。クラシック音楽への道案内です。

〈主催〉株式会社オフィスMGF



〈共催〉NPO法人オーケストラ創造

〈協賛〉KMバイオリジクス(株)、名古屋宗次ホール、国際ロータリー第2720地区

〈後援〉熊本県音楽教育研究会





篠崎史紀 ヴァイオリン Fuminori Maro Shinozaki / violin

1984年、クラシック音楽を聴くための学生旅行途中、ウィーン留学中のマロと出会った。以来約40年の付き合いの私が見たマロ。

私がマロの音楽家としての特徴をまず書くとしたら、絶対神である作曲家へのリスペクトをあげる。人類の遺産といえる名作を残した作曲家たちに尊敬と感謝の気持ちが強く、その作品の良さが伝わることを何よりも優先する。

そんなマロも、若い頃は誰も弾くことはできない難しい曲を弾いていい気分になっていたという。それがウィーンで激変する。ウィーンの友人が弾くシンプルなシューベルトのソナチネを聴き、超絶テクニクとは無縁のしかし音楽として純粋に美しい演奏を聴いて音楽の本質に気づいたと言う。それ以降は作曲家・作品へのリスペクトが生まれ、音楽の良さを伝えるためにテクニクを磨き、和声など音楽の理論を学び、作曲家の生涯を知り、当時の社会情勢も調べ、より作曲家に近くなっていった。クラシック音楽では亡くなってしまった作曲家が多いので「ベートーヴェンに一度聞いてみたいんだよ」「バッハに会ってみたいんだ」というのはマロからよく出るフレーズである。

ヴァイオリニストとしてのマロへの賛辞も多い。2017年のN響ロンドン公演、マーラーの交響曲第6番の批評ではマロが弾いたコンマスのソロについて「神がかり的 (ineffably divine)」と書かれていた。オケのコンサートの批評でコンマスのことが取り上げられることは極めて稀だ。

コンマスとしての仕事ぶりはオーラ全開の存在感に加え、演奏中はオケのあちこちに視線を配り、オケ全体をリードしているのがよくわかる。また何人ものオーケストラ奏者、指揮者、ソリストからマロのコンマスとしての能力を絶賛する話を聞いた。マロがオケの前に座るとオケには安心感と良い緊張感が生まれるという人もいる。

コンマス以外でも室内楽やソロのコンサート、教育者として後進の指導など、マロにしかできない価値ある仕事でたくさんの人に音楽の素晴らしさを伝えている。

1984年にウィーンで初めて会った時、マロの演奏は聞かなかった。おもしろくて良い人だな、と思い熊本にアマオケの指導で呼んだ。その後、熊本に何回きたかわからないが、付き合いば付き合うほどマロの素晴らしさを発見し感銘を受け続けている。

株式会社オフィス MGF 坂本一生



入江一雄 ピアノ Kazuo Irie / piano

東京藝術大学・同大学院を首席で卒業・修了。2012年9月よりチャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院研究科に在籍し、2016年夏にディプロマを取得し同科を修了。留学中にルームミュージックファンデーション(2012,13年度)・文化庁(2015年度)より助成を受ける。

第77回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、第1回コインブラ・ワールド・ピアノ・ミーティング(ポルトガル)第5位入賞他受賞多数。幅広いレパートリーの中でもライフワークであるプロコフィエフのピアノソナタ全曲演奏会を成功させる等のソロ活動に加え、東京・春・音楽祭などの国内主要音楽祭やNHK-FM「リサイタル・パッショ」への出演、新日本フィル・東京フィル・日本フィルなどの国内主要オーケストラとの共演や、若手演奏家からベテラン奏者まで幅広い音楽家との共演機会も多い。近年ではN響特別コンサートマスター篠崎史紀氏から絶大な支持を受け、同氏リサイタルや室内楽公演で多くの共演機会に恵まれる。

2021年よりソロ・リサイタルシリーズをスタートさせる。

これまでに植田克己、エリソ・ヴィルサラーゼら著名な音楽家に師事。現在、昭和音楽大学専任講師・桐朋学園大学非常勤講師を務める。王子ホールレジデンス「ステラ・トリオ」メンバー。



“クラシック音楽には人生・社会を良くする力がある”

株式会社オフィス MGF は、多くの人と音楽の素晴らしさを共有できる機会を作っていきます。

株式会社 **オフィス MGF**

電話 090-6632-5795 メール info@office-mgf.jp